

りゅうおう

議会だより

No.205

2023年10月15日
滋賀県竜王町議会

竜王新古今八景
若者でにぎわう
アウトレット

衣・食・住に、

時代を映す若者たちの姿

- 特集 P2～ 4年間の足跡
- 定例会報告 P4～ 指定管理施設実態調査業務
- 委員会報告 P6～ 農業振興ビジョン
- 一般質問 P9～ こどもまんなかの竜王町
- 新議員紹介 P19～ 第18期竜王町議会スタート！

第17期竜王町議会議員

4年間の

足跡

令和
元年

- 10月 第17期竜王町議会スタート
議長に小西久次氏、副議長に森島芳男氏が就任
- 12月 新型コロナウイルス感染症が中国で初報告

令和
2年

- 1月 議会報告会開催（健康推進員との意見交換）
- 4月 全国に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令
- 10月 チョイソコリゅうおう運行開始
- 11月 蒲生郡町村議会議長会国要望



議会報告会（健康推進員との意見交換）



チョイソコリゅうおう運行開始



新型コロナワクチン集団接種



国要望（令和3年）

令和
3年

- 3月 議会音声インターネット（You Tube）配信開始
- 4月 第六次竜王町総合計画スタート
- 5月 新型コロナワクチン集団接種開始
- 5月 2020東京オリンピック聖火リレー
- 10月 第17期竜王町議会役員改選
議長に貴多正幸氏、副議長に澤田満夫氏が就任
- 11月 蒲生郡町村議会議長会国要望

令和
4年

- 4月 竜王こども園開園
- 6月 「議会ICT化特別委員会」を設置
- 7月 国民スポーツ大会スポーツライミング競技開催地に決定
- 9月 議会広報特別委員会視察研修（東京都・町村議会広報研修会等）
- 11月 蒲生郡町村議会議長会国要望
- 12月 ケンケト祭りがユネスコ無形文化遺産に登録

令和4年度
町村議会広報研修
議会広報特別委員会視察研修
（東京都）令和
5年

- 3月 ドラゴンボルタリングジム供用開始
- 6月 教育民生常任委員会視察研修（鹿児島県南さつま市）
- 9月 竜王町議会議員一般選挙



教育民生常任委員会行政視察研修（鹿児島県南さつま市にて）

主な質疑応答

問 報償費は法的な根拠に基づいて支払われるものか。

答 顧問弁護士に相談して妥当な金額を支払う予定。

問 補償費は、用地取得の遅延補償とのことだが、そもそも用地取得の遅れは公聴会・審議会以前の早い段階で分かっていたことではないのか。

答 今回の耕作補償の部分は、転作の関係で水稲ではなく、麦と大豆であった。当初の計画通りに6月に用地取得が進んでいれば、麦と大豆の耕作はなかった。しかし、公聴会の開催および審議会の開催が予定されたため、実際のスケジュールが遅れたことで、麦と大豆の耕作ができたことになり、そのための補償となる。

交流・文教ゾーン整備事業

配水管布設工事負担金

指定管理施設実態調査業務

問 将来の竜王IC付近の開発を見据えて管口径150ミリをいれるとのことだが、使用しなければ消失する残留塩素の保全本はどうするのか。

答 薬師配水池と30ヘクタールの土地の有効活用も含めて口径50ミリを口径150ミリに変更する。残留塩素の保全本は、使わない水を少しずつでも流して塩素を確保する。

河川敷整備事業

問 この計画の全体が見えないが、どの程度まで整備するのか。

答 大枠として、今年度は一定範囲での芝生の下地整正を計画している。今後については、近隣市町の情報やグラウンドゴルフ連盟の意向も含めて進めていく。

問 過去に同様の調査を実施していないとのことだが、調査項目全てが業務委託になるのか。

答 全て業務委託になる。しかし、委託業者と連携を図りながら町の意向も反映した内容で最終提言としてまとめる。

問 この調査により、民間での管理運営の可能性や課題を把握することだが、基本的にはその方向で進めるということか。

答 基本的に指定管理は非公募であるべきとの意見もあるが、非公募での運用が続いている中で、その効率性を今回の調査で確認し、今後の指定管理のあり方を見直す機会にしたい。

指定管理者制度とは
公の施設の管理運営を株式会社や財団法人などの団体に包括的に代行させることができる制度だよ！

現在の指定管理施設は
ふれあいプラザ（鶴川、弓削、鏡、岡屋）、農村運動広場、妹背の里、総合運動公園、地域産業研修センター、農林公園、田園資料館、農村環境改善センター、道の駅竜王かがみの里、シルバーワークプラザ、国民健康保険診療所（医科）。



近江うし丸

8月定例会

8月定例会が8月10日から9月1日までの23日間の会期で開催されました。条例案件4件、補正予算5件、決算認定2件、調停に代わる決定1件、人事案件3件、報告案件2件、その他1件が上程され、原案どおり全員賛成で可決しました。

令和5年度一般会計

今回の補正額 **1億6,470万円**
予算総額 **74億6,873万円**

主な内容(事業)



教育民生常任委員会

調査 竜王小学校基本計画（案）の進捗について

◇竜王小学校基本設計（案）について

- *業者選定：竜王小学校建設基本設計実施設計業務についてはプロポーザル方式により提案書の内容を踏まえ、業者を決定した。
 - *基本目標：①あたたかさやさしさのある学校 ②学びがつながる・広がる学校 ③地域とともにある学校
 - *今後の予定：8月に基本設計のとりまとめ・基本設計が完了後に実施設計着手・建築確認申請の手続きを行う予定。
- 《報告事項》8月24日に竜王小学校基本設計（案）の変更事項について報告を受けた。

主な質疑応答

- 問 竜王小学校建設を進めるにあたっては、予算等について議会の承認が必要になるため、今後においても進捗状況に応じた丁寧な説明をしてもらいたい、町の考えは。
- 答 これまで積み上げてきたことの経過も含めて丁寧な説明をしていく。

調査 「子ども・子育て支援事業計画の取組」と「出産・子育て応援交付金事業」について

◇子ども・子育て支援事業計画 計画期間：令和2年度～令和6年度

基本目標

- ①子育て家庭を支える教育・保育事業の提供体制づくり
- ②子どもを産み、育てやすい環境づくり
- ③さまざまな状況の子育て家庭に対するきめ細かな支援体制づくり
- ④家庭と仕事を両立させる環境づくり
- ⑤子どもの健全な成長を支える環境づくり
- ⑥地域ぐるみの子育て支援体制づくり

令和5年度新規事業

- ①竜王町産後ケア事業
- ②子育て短期支援事業

◇出産・子育て応援交付金事業（令和5年8月9日現在）

伴走型相談支援

- ①妊娠届出時の面談（対象者31名 実施者31名）
- ②妊娠7カ月時のアンケート送付（対象者2名 返信者1名）
- ③新生児訪問時の面談（対象者14名 実施者14名）

出産・子育て応援ギフト

- ①出産応援交付金：妊娠届に伴い、面談を実施した妊婦に5万円を支給
- ②子育て応援交付金：乳幼児家庭全戸訪問時等に面談を行った養育者に児童1人につき5万円を支給

令和4年度分 出産応援交付金：85件 子育て応援交付金：54件 事業実績：6,950,000円

令和5年度分 出産応援交付金：24件 子育て応援交付金：11件 事業実績：1,750,000円

主な質疑応答

- 問 こども計画の策定について、今の段階でいつまでを目標としているのか。
- 答 こども計画については、計画期間を含めこれから議論を行っていくが、概ね10年ぐらいを想定している。



総務産業建設常任委員会

付託 竜王町都市公園条例の一部を改正する条例

竜王町総合運動公園内の弓道場使用料について、他の施設との整合を図るべく町外個人利用の使用料を2倍から1.5倍に改めるとともに、弓道場に「青少年、高齢者および障害者」の使用区分を新たに設けたいことから条例の一部を改正する。

主な質疑応答

- 問 「青少年、高齢者および障害者」の使用区分を新たに設けるとのことだが、弓道場以外の他の施設についても同様の区分を設けているのか。
- 答 弓道場以外の他の施設についても同様に「青少年、高齢者および障害者」の使用区分を設けている。

調査 竜王町農業振興ビジョン（実施計画）について

竜王町農業振興ビジョンは基本構想と実施計画の2つの構成となっている。

◇基本構想とは…

本町農業の将来像（30年後）「しが竜王グッドサークル農業」と、この10年間に取り組む基本的方向として将来像実現に向けた5つの戦略である。

この10年間に取り組む基本的方向である5つの戦略

- 戦略1 魅力的な仕事として継続・向上できる「プロフェッショナル農業」
- 戦略2 町内外の交流を産み出す「観光・6次化農業」
- 戦略3 生きがいや福祉、教育など、町民の幸福度が向上する「地消地産・健康農業」
- 戦略4 竜王町原風景と環境を守る「土地利用型農業」
- 戦略5 未来社会を先導する「循環型農業」

◇実施計画とは…

基本構想に基づいた今後5年間で実施する取組と、その中でさらに重要となるものについては、5つのリーディングプロジェクト（重点プロジェクト）として位置付けた。

リーディングプロジェクト（重点プロジェクト）

- 1 各集落による話し合いの促進（地域計画の策定）
- 2 ほ場や土地改良施設の整備
- 3 観光農園の質・量の充実化
- 4 農産物直売所への出荷促進
- 5 学校給食等における町内農産物の利用促進



主な質疑応答

- 問 ほ場や土地改良施設の整備について、経営効率の高い大区画の農地を整備することであるが、どの程度の規模を想定しているのか。
- 答 農作業の効率化を考えると1ha規模が想定されるが、耕作者の農業機械の大きさによっては、0.5ha程度の大きさが適当であると判断できる場合もある。

町政 ここを問う!

8月定例会では10議員が21問の一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問を質し報告や説明を求めることです。

ページ	質問者	質問事項
10	中村匡希議員	・不登校とフリースクール支援は ・鵜川・川守地先の忠魂碑の今後は
11	尾川幸左衛門議員	・竜王町の洪水による避難は ・竜王町の30年後の農業は
12	磯部俊男議員	・竜王町の令和5年度全国学力・学習状況調査の結果は
	大前セツ子議員	・今までで一番暑い夏の熱中症対策は
13	福田優三議員	・竜王町における高校生以上の引きこもりの実態は ・惣四郎川綾戸地先護岸の工事予定は
14	鎌田勝治議員	・放課後等デイサービスへの本町の考え方は ・「こどもまんなかの竜王町」に対する機運醸成への取組は
15	小西久次議員	・今後の財政運営は ・竜王町総合運動公園の将来計画は
16	森島芳男議員	・竜王町タウンセンター前バス停留所の改善を ・公共施設等におけるトイレの洋式化は
17	澤田満夫議員	・滋賀竜王工業団地北側の保安林活用取組状況は ・公共施設の太陽光発電義務化の取組は
18	橘せつ子議員	・竜王町コンパクトシティ化構想の進め方は ・子育て支援「おむつ提供新生児訪問」の支援延長を* ・3歳未満児の待機児童解消は ・公共施設に大型遊具を、屋内にキッズスペースの確保を* ・地域公共交通をもっと便利に*

※紙面の都合上、掲載しておりません。
QRコードから、全ての質問がお聴きいただけます。

各議員のQRコードを
スマートフォンで読み
取ると音声配信が聴け
るよ



近江うし丸

次回の一般質問は
令和5年12月19日(火)予定

議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713

地域活性化特別委員会

調査 中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について

◇中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗と今後について

- ・7月21日に土地収用法に基づく公聴会が開催され、24名の傍聴があり、2名の公述人が賛成の立場で意見を述べられたとの報告を受けた。
- ・8月9日に用地費の審査のため、竜王町公有財産審査委員会が開催された。
- ・埋蔵文化財試掘調査の結果、遺構が検出されたことから令和5年9月から令和6年3月にかけて本発掘調査が実施される。
- ・交流・文教ゾーン整備の用地取得に伴う地権者等への用地および建物等補償、事業推進費、共同減歩補償、用地取得遅延補償等について説明を受けた。

主な質疑応答

問 8月9日に開催された公有財産審査委員会において用地費の審査をされたということだが、用地交渉はいつから行うのか。

答 公有財産審査委員会において、諮問した用地価格を審査され、妥当であると答申をいただいたことから、県の土地収用法に基づく事業認定が下りた後に、用地交渉を行う。

議会ICT化特別委員会

報告 タブレット端末導入に関する報告書の確認について

◇タブレット端末とグループウェアシステムの入札執行状況の確認

7月26日に公告されたが、入札参加者がなかったという報告があり、タブレット端末の導入は遅れることが想定される。再度の入札会の開催で早期に導入が実現することを期待する。

◇これまでの取組

本委員会は、昨年6月に発足して以降、10回の委員会と1回の行政視察で意見交換と確認を行い、3回のペーパーレス会議システムのデモンストレーションを行った。

検討結果

- ・タブレット端末はiPadとする。
- ・ペーパーレス会議システムは、サイドブックスとする。
- ・タブレット端末の運用規程と内規を策定し、会議中には、SNSやメールなどの情報発信に制約を設けること。
- ・端末の紛失時の過失によっては、費用を弁済すること。
- ・セキュリティの留意事項を記載すること。
- ・運用規程で記載のない詳細な運用ルールについては、内規を策定し、会議中に閲覧できるウェブサイトの種類や毎月の通信可能なデータ量を規定する。



議会ICT化特別委員会の様子



おがわ こうざえもん
尾川 幸左衛門 議員



問 竜王町の洪水による避難は

答 適切な時期での避難情報の発令に努める



祖父川（鶴川地先）氾濫水位の目安

問 竜王町床上浸水発生確率図によると10年に一度の確率で浸水する集落は、弓削、西川、西横関、川守の妹背の里である。近年の台風の影響としては、平成25年の台風18号で、川守の妹背の里、弓削、西川、西横関が浸水し、避難勧告が発令された。氾濫危険場所の発令区域は、雨量による選定をすべきと思うが選定方法は、どのようにしているのか具体的に伺う。

答 気象情報や雨雲の動き、河川上流での降水量や河川水位、ダムの放流量、水位観測所の河川水位の実況値と予測値、中小河川に設置している水位センサーでの水位等を確認している。基準点での水位が避難判断水位、氾濫危険水位に達し、さらに水位の上昇が見込まれ、災害の切迫度が高まった際に、氾濫するおそれが高まっている沿川の地域に対し、高齢者避難準備、避難指示等の避難情報を発令する。

答 ①後継者の確保については、専任人材の確保が図れるよう、町をはじめ関係機関との連携を強化することにより支援

③農業政策における環境問題や災害防止などの取組は。



非効率な農地（山田）

②土地条件等により今後農地としての活用が困難な遊休農地は、非農地として検討しなければならぬ時期と考える。

③農地は、作物の生産のみならず、水源の涵養、災害防止、生物多様性の確保等々、生活環境を維持していく上で必要不可欠な資源と認識しており、あらゆる施策を講じる。

答 町をはじめ関係機関との連携を強化する

問 竜王町の30年後の農業は



なかむら まさき
中村 匡希 議員



問 不登校とフリースクール支援は

答 公的な支援も視野に入れ、基準については検討したい



一昨年度日野町で開設され、県内各所から受け入れを行っている「里山フリースクール」

問 全国の不登校児童生徒数は約24万人とされる。本町では公的な支援として自立支援ルームが整備されているが、最近では民間組織の「フリースクール」も新しい受け皿として期待されている。そこで次の点を伺う。

①令和4年度は小中学校合わせて23名。
②「学校に登校」するという結果のみを目標にするのではなく、生徒の社会的な自立という視点の支援が必要である。家庭学習支援として学習教材を届けることや、スクールソーシャルワーカー等の面談やアドバイスを踏まえて、公的な機関やフリースクールとの連携に努めている。
③どういった施設に対して支援を行うかの基準について、国・県の動向を注視し情報収集に努めながら検討していきたい。

答 ①鶴川地先は大正15年に帝国在郷軍人会鶴山分会が寄附を募り建立している。川守については詳しい経緯は不明だが旧苗村役場の敷地内である。両方とも竜王町遺族会が定期的な維持管理を行っている。
②基礎部分に亀裂などが見られるが、現時点では倒壊等の危険性はないと考えている。
③刻銘板には計393人の氏名が刻まれている。



鶴川（左）と川守（右）地先の忠魂碑

問 鶴川・川守地先の忠魂碑について、次の点を伺う。

①設置の経緯と管理の現状は。
②安全面での課題は。
③刻銘板の保存は。
④補修または再建の検討状況は。

答 戦後80年に合わせて平和祈念碑の建立を検討する

る。戦争の記録を伝える重要な資料であり保存を協議している。両忠魂碑は解体を進めるが、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝える、同じ場所に刻銘板を設置することを考えている。



ふくだ ゆうぞう 議員



問 竜王町における高校生以上の引きこもりの実態は

答 ご家族の思いに寄り添い支援していく

① 民生委員児童委員に対してアンケート調査を実施し、町内で36人程度の方が引きこもり状態であると認識している。しかし、正確に把握していくことはデリケートな点が多く、重

問 竜王町においても引きこもり状態にある方の数は増加傾向にあると聞いているが、次の3点について伺う。
① 高校生以上で学校等に通わず、就労等せずに家で過ごされている方は竜王町に何人程度おられるか。また把握されているか。
② 引きこもり状態にある方への将来的な支援、就職支援等含め、どのような対応、支援をされているか。
③ 引きこもり状態にある方の保護者への支援、相談、助言、アドバイス等、どのようなことを行っているか。



相談窓口の「ふれあい相談発達支援センター」

要な課題であると認識している。
② 個別の面談、自宅への訪問等も実施しており、就労体験や就労ボランティア等、基本的な労働習慣に向けた取組を行っている。
③ どのような支援が本人に対して必要かを説明し、「家族にできること」を一緒に考え、ご家族と現状を共有し、今後の支援や見通しを一緒に考えている。

答 早期の復旧工事を県に働きかけ、令和4年10月から12月にかけて復旧工事を行うための測量および設計をしていただいた。令和5年3月には入札にて工事業者を決定していた。令和5年3月30日から令和6年2月

問 惣四郎川綾戸地先では、昨年9月14日に、護岸の一部がずれ落ちている等、住民より指摘を受け、現在、ブルーシートで覆い土砂の流出が起きないよう仮復旧されている状態である。東近江土木事務所に対応を依頼していると聞いているが、復旧工事の予定、進捗状況等、どのようなになっているか伺う。

答 10月16日以降に工事着手を予定している

問 惣四郎川綾戸地先護岸の工事は予定は



仮復旧中の惣四郎川右岸法面

2日が工期であり、複数箇所を対象とした工事であるため、順を追って進めていただいている。当該箇所の工事については出水期後の10月16日以降に工事着手を予定している。約30m区間について護岸復旧工事を行っていただく。



いしべ 俊男 議員



問 竜王町の令和5年度全国学力・学習状況調査の結果は

答 小学校は全国並み、中学校は下回る
中学校のICTの活用は全国を上回る

① 小学校は、国語が全国平均に若干届かなかったが、算数については全国を上回った。中学校は国語・数学・英語と全国を下回る結果であったが、授業におけるタブレット等のICT活用状況は全国を大きく上回った。
② 「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」における児童生徒の習得状況を把握し、弱点を克服するための授業改善や個別指導の取組を進める。併せて、小学校では徹底反復学習（竜王チャレンジタイム・脳トレ）の更なる充実を図ると

問 全国学力・学習状況調査について次の3点を伺う。
① 竜王町における令和5年度の調査結果は。
② 調査結果を受け、今後の取組は。
③ 調査結果での生活習慣、学習習慣の変化は。



小学校における授業風景

③ 小中学校ともに、就寝時間や朝食摂取率は全国を上回っており、国委託の「早寝・早起き・朝ごはん推進校事業」の効果が表れている。一方で、読書や家庭学習にかけられる時間が全国を下回っていることから、読書活動を推奨するとともに家庭への啓発と家庭学習に取り組む環境について各学校と連携し、改善を図る。

問 今までで一番暑い夏の熱中症対策は

答 各学校園へは緊張感をもって指導助言していく



おおまえ せつこ 議員

問 「命にかかわる危険な暑さ」の中、登下校において子どもたちは重い水筒や荷物を手に持ち、一時間近くの道のりを歩く。こうした子どもたちの登下校の負担軽減と健康維持のための冷水機等の追加配置や熱中症対策は。



重いランリュックを背負って登校する児童たち

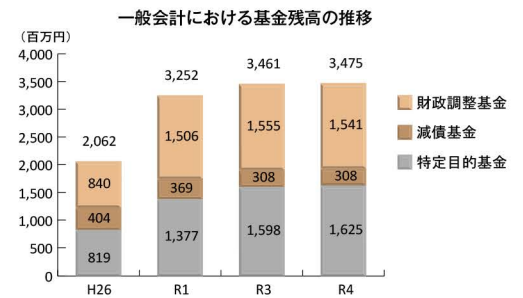
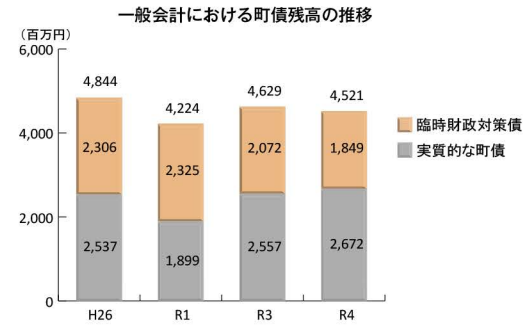
答 登下校時のランリュックの重さは「置き勉（学校教科書を学校に留め置く）」を認めることで負担軽減に努めている。学校での熱中症対策としては熱中症計で暑さ指

数を毎日数回測定し、指数によっては屋外活動から屋内活動に切り替えて対応している。また、下校時の体調不良者には保護者のお迎え等もお願いしている。冷水機の追加については、すでに設置している冷水機で、休み時間に水筒に補充したり大型冷凍庫でタオル等を冷やしたりして対応していることから、今後、冷水機の追加設置がいいのか日傘や帽子等の配備が必要なのか等も含め、学校にニーズ調査を行い、対応していく。



問 今後の財政運営は

答 教育や福祉を衰退させることなく
安定的な財政運営が可能である



問 町内企業の業績による法人町民税や固定資産税の影響に左右されながら普通交付税が2年ぶりに交付された。現在まで福祉・教育・まちづくりが二元代表制のもと順調に進められてきた。予算規模も本年度は71億円を超え基金・町債も拡大しつつある。教育や福祉を衰退させることなく、まちづくりを進めなければならないが、将来に向けたまちづくりと財政運営の見通しについて伺う。

答 過去10年間で法人町民税収は令和元年度の13億円、固定資産税収は令和4年度の21億円が最も多い。したがって、町内工業団地の企業操業開始により順調に増加している。町債残高も前年度45億円、基金残高は35億円となり、町税増加の影響がある。今後のまちづくりは、教育や福祉を衰退させることなく、中心核整備をはじめ施策事業に対し、国県の補助金の確保はもとより町税・各基金を財源とすることにより安定的な財政運営が可能である。



総合運動公園内芝生広場(上)と祖父川河川敷(下)



問 平成8年にドラゴンハットが供用開始され各施設整備が行われたが、老朽化が進みつつあり、長寿命化計画策定や新たな開発基本計画に取り組まれているが、現在までの取組み状況は。昨年12月に西エリア検討の説明後、新たな別の計画が

示されたが、その経緯について伺う。

答 長寿命化計画策定については令和4年度に調査、今年度から修繕検討・計画の更新を進めている。滋賀国スポーツ大会も見据えドラゴンハット雨漏れ対策等修繕を行う予定である。西エリアの有効利用については関係機関と協議を重ね、短期的には国の交付金を活用し芝生広場の拡張やトイレ改修等を行う。総合運動公園内でのグラウンドゴルフ施設の整備も検討したが、関係機関・団体との協議で、薬師地先の祖父川左岸敷で整備することとした。

答 滋賀国スポーツ大会を見据え改修等を進める

問 竜王町総合運動公園の将来計画は

問 放課後等デイサービスへの本町の考え方は

答 町内に施設は必要。参入法人の相談・支援に取り組む

① 令和5年7月末時点で、小学生9名、中学生4名、高校生6名の合計19名が利用。



放課後等デイサービスルーム

② 本町の子どもたちが住み慣れた地域で学校終了後や学校休業日を過ごすことは、郷土への愛着を育む点や地域の子どもたちとの交流の点から町内に同施設は必要と考える。

③ 近隣市町の状況と民営の場合は国や県の補助があることから、民間での運営が望ましい。進展しない主な理由は、事業を行う場所の確保に苦慮しているため。しかし、同施設の必要性を感じているため、今後も引き続き法人との協議を重ね支援に取り組んでまいりたい。



かまだ かつじ 議員

問 本事業について、次の4点を伺う。
① 現時点での放デイ利用者数は。
② 今度、竜王町内に当該施設がなくても近隣市町の施設を利用できたことで何とか対象者へのサービスを維持できてきたと思うが、今後は竜王町内に当該施設が必要と考えているか。
③ 必要と考える場合、近隣市町の状況から鑑みて、やはり民間主導型のサービス提供が望ましいと考えるか。
④ 本事業に参入したいと手を挙げている法人が既に存在しているが、事業化が具体的に進展しない理由は何か。

③ 地域全体で子どもを応援する機運の醸成や取組の拡充。
①と②は行政の重層的支援事業の一環として具体的に組み組んでもらうとして、

② こどもや若者の意見を尊重し、必要な施策に活かすしくみづくり。
③ 地域全体で子どもを応援する機運の醸成や取組の拡充。

問 町ホームページの「こどもまんなかの竜王町」には、子育て世帯でにぎわうまちづくりをめざしてとして、次の3つのテーマをもとに地域全体で「こどもまんなかの社会」の実現をめざすとある。

③ については、地域全体での取組が今後の大きな課題になると思われる。そこで、機運醸成に向けた町の具体的な取組を伺う。

こどもまんなか社会づくりのための具体的方策
～子育て世帯で にぎわう まちづくりをめざして～

こどもや若者の意見やニーズを反映させる	地域全体の機運醸成	竜王町独自の施策
「(仮称)竜王町こども計画」の策定にあたり、今年度はニーズ調査を実施。 - こどもや若者の意見を直接出し、まちづくりワークショップを開催予定(11月23日開催予定)。 - 次年度以降は、「(仮称)竜王町こどもまんなか会議」を設置、こどもや若者の意見聴取の機会をつくる。	- 出生数の減少や困難事例の増加を踏まえ、伴走型相談支援をより一層強化。 8月議会に「就学前児童誕生祝い金事業」を提案。面談方式で祝い金(商品券)を贈呈し、各世帯の課題を早期発見・早期対応につなげる機会や子育ての魅力を伝える。	- 人口減少への対応として、本町にゆかりのある家族等を対象に8月議会に「こども新生活応援事業」を提案。転入世帯のうちに、こどもの新生活にかかる必要経費の一部(定額)を助成する。 - 竜王での子育ての魅力や子育て総合情報冊子やSNSで発信。

※当中心核整備の前期(R5～R8年度)では、竜王町にゆかりのある子育て世帯を対象に、後期(R9～R12年度)では、住宅関係が進む予定のため、県内へ「こどもまんなかの竜王町」を発信するキャンペーンを展開し、子育て世帯でにぎわうまちづくりを進める。

こどもまんなか事業のイメージ

答 「こどもまんなかの」の推進により地域の機運醸成に努める

問 「こどもまんなかの竜王町」に対する機運醸成への取組は



さわだ みちお 議員
澤田 満夫

問 滋賀竜王工業団地北側の保安林活用の取組状況は

答 具現化に向けた検討と、保安林解除についても県に働きかけをしていく

その結果、保安林部分は散策路などとして活用し、



滋賀竜王工業団地に隣接する保安林

問 滋賀竜王工業団地北側の保安林の活用の取組についての進捗状況は。

答 令和元年と令和3年の定例会においての一般質問を受け、滋賀県総合企画部新駅問題・特定プロジェクト対策室主催で7回の「滋賀竜王工業団地北側未利用地の利活用に係る研究会」が開催された。その研究会では、短期的には保安林のまま活用する方法や中長期的には保安林を解除できる見通しのある公益施設や国家的な政策と合致する施設整備などの活用を模索していくとされた。また、県の「滋賀県庁県有資産活用のひろば」におけるヒアリングパートナーに対し令和3年2月にヒアリングを行った。

その他の部分は、キャンプ地などの集客を見込める機能を整備し、複合的な機能を持たせた活用方法もあり得ると提案があった。これを受け、更に具体的な事業者へのヒアリングを行うべくアスレチック系企業およびマウンテンバイク利用企業を中心に候補先を検討している。引き続き、保安林のままでも活用できる方法について具現化に向けた検討を行いつつ、保安林解除についても県へ働きかけをしていく。

問 公共施設や各自治会館等ではトイレの洋式化が進みつつあるが、まだ和式トイレの施設もある。家庭では洋式トイレの普及が進み、和式トイレの利用の際には、年齢に関係なく足腰に負担がかかることから大変困られている。このことから、公共施設には洋式化を進め、各自治会館等には和式トイレの洋式化に伴う補助金制度の拡充が必要と考えるが町の見解を伺う。

答 高齢者にとって和式トイレは足や腰に負担がかかるため、洋式トイレの整備が望まれる。現在、本町の公共施設のうち、学校施設やスポーツ・文化・観光施設など多数の



竜王中学校体育館の太陽光パネル

問 公共施設等の太陽光発電義務化の取組は

答 施設の更新や改修等に合わせて導入を検討し、整備を順次進める

問 公共施設への太陽光発電義務化の現状と取組は。

答 国は、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度から50%削減に向け挑戦としている。このことから、本町では竜王町公共施設等総合管理計画において脱炭素化事業の推進方針の中で太陽光発電とLED照明の導入、施設の省エネルギー改修等を目標とした取組を推進している。現時点の太陽光発電設備の導入状況は、竜王中学校の体育館およびドラゴンズスポーツセンターに設置しており、現在進めている交流・文教ゾーンへの導入も予定している。今後は老朽化した施設

設の更新や改修等と合わせて、国の制度や財政状況、経費や維持管理費など総合的に勘案しつつ、効率的な導入手法を検討し、整備を順次進める。



もりし ま 議員
森島 芳男

問 竜王町タウンセンター前バス停留所の改善を

答 利用者のニーズも聞きながら対応を検討する



竜王町タウンセンター前バス停留所

問 竜王町タウンセンター前バス停留所は、屋根が小さく囲いがないため、風雨や風雪等を凌ぐことができない状態である。役場や公民館等の公共施設には町内外から高齢者等の利用があり、バスを長時間待つ時などに困っておられる状況である。このことから、雨風等を凌ぐためにも待合所の改善が必要と考えるが町の見解を伺う。

答 竜王町タウンセンター前のバス停留所は平成23年度の公民館のコンバージョンの際に設置した。現状は、定時運行の路線バスを利用される方が短時間の待合に使用されることを想定しているため、雨を凌ぐ屋根と3人掛け程度のベンチのみの簡易な構造となっている。高齢の方などには、現状の停留所では想像している以上に雨風等でお困りのこともあると思われる。役場や公民館における町の方が降り降られる町の中心の停留所であることも踏まえ、利用者のニーズもお聞きしながら、安心・安全・快適にご利用いただけるよう対応を検討していく。

問 公共施設や各自治会館等ではトイレの洋式化が進みつつあるが、まだ和式トイレの施設もある。家庭では洋式トイレの普及が進み、和式トイレの利用の際には、年齢に関係なく足腰に負担がかかることから大変困られている。このことから、公共施設には洋式化を進め、各自治会館等には和式トイレの洋式化に伴う補助金制度の拡充が必要と考えるが町の見解を伺う。

答 高齢者にとって和式トイレは足や腰に負担がかかるため、洋式トイレの整備が望まれる。現在、本町の公共施設のうち、学校施設やスポーツ・文化・観光施設など多数の



改修が待たれる役場の和式トイレ

問 公共施設等におけるトイレの洋式化は

答 トイレの洋式化は更に進めていく

問 公共施設や各自治会館等ではトイレの洋式化が進みつつあるが、まだ和式トイレの施設もある。家庭では洋式トイレの普及が進み、和式トイレの利用の際には、年齢に関係なく足腰に負担がかかることから大変困られている。このことから、公共施設には洋式化を進め、各自治会館等には和式トイレの洋式化に伴う補助金制度の拡充が必要と考えるが町の見解を伺う。

答 自治会集会所施設のトイレの洋式化に係る支援制度については、現在・未来へつなぐまちづくり交付金の制度で自治会からの申請に基づき交付している。引き続き、トイレの洋式化に対する支援を実践していく。

第18期竜王町議会スタート!

任期：令和5年10月1日～令和9年9月30日

10月2日に初議会が招集され、正副議長、監査委員などの選出を行い、第18期竜王町議会がスタートしました。



～竜王町の発展のために全力を尽くします!!～

議長 小西 久次		副議長 中村 匡希		委員会構成 議会運営委員会 委員長 澤田 満夫 副委員長 鎌田 勝治 委員 磯部 俊男 委員 森島 芳男 委員 山田 義明		総務産業建設常任委員会 委員長 森島 芳男 副委員長 橋 せつ子 委員 山田 義明		地域活性化特別委員会 委員長 磯部 俊男 委員 澤田 満夫 委員 大橋 裕子 委員 中村 匡希		予算決算常任委員会 委員長 山田 義明 副委員長 三宅 政仁 委員 中村 匡希 委員 大橋 裕子 委員 若井 政彦 委員 鎌田 勝治 委員 山田 義明 委員 小西 久次		教育民生常任委員会 委員長 磯部 俊男 副委員長 大橋 裕子 委員 若井 政彦 委員 鎌田 勝治 委員 山田 義明 委員 小西 久次		議会改革特別委員会 委員長 鎌田 勝治 副委員長 磯部 俊男 委員 中村 匡希 委員 三宅 政仁 委員 若井 政彦 委員 大橋 裕子 委員 山田 義明 委員 森島 芳男		議会選出監査委員 内山 英作		東近江行政組合議会議員 代表 澤田 満夫 三宅 政仁		八日市布引ライフ組合議会議員 代表 内山 英作 大橋 裕子		中部清掃組合議会議員 代表 中村 匡希 若井 政彦	
--------------------	--	---------------------	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	---	--	--------------------------	--	---	--	--	--	--	--

問 竜王町コンパクトシティ化構想の進め方は

答 説明は充分と判断、それぞれの時期に財政の見通しを示す



橋 せつ子 議員

問 交流・文教ゾーンだけでも当初予算55・2億円だったが、建設資材費高騰等でさらに増額になる可能性がある。このまま進めて竜王町の財政は大丈夫か、次世代に借金が残るのではと、町民の声も出されていることから次の2点を伺う。

① 予算が増えればその起債も増えるが、財政計画を示し、町民の声に納得のいく説明が必要ではないか。

② コミュニティセンターと竜王町公民館の関係について、費用も10億～20億円になり別会計でと言われているが、町民に丁寧な説明が必要ではないか。



中心核整備予定地

上げ償還等でコントロールしていく。財政計画はそれぞれの時期に財政の見通しを示す第2期公民館基本計画を策定しており、これらを踏まえ規模、整備に係る経費、国等の財政支援も検討し、一定の整備方針をお示しする。

② コミュニティセンターについては、全自治会長や住民の方々を対象にアンケートを実施中で、公民館は10年後を示す第2期公民館基本計画を策定しており、これらを踏まえ規模、整備に係る経費、国等の財政支援も検討し、一定の整備方針をお示しする。

問 「子どもが生まれながら、保育園に入らず困っている」という声が寄せられた。現在3歳以上児の子ども達は全員入所できているが、3歳未満児の子ども達が入所できない状況があると伺った。交流・文教ゾーン移動時には年数がかかるため、早急な対応が必要と考え、次の3点を伺う。

① 現在の0・1・2歳児の待機児童数は。

② 待機児童解消についてどのように考えているか。

③ 竜王こども園を幼保連携型にして、早急に3歳未満児枠を設けることが必要ではないか。

答 ① 本町の待機児童数は4月1日では0人。しかし、入所希望の保護者の方の育休延長等の協力等入所調整によるもので、年度途中からの入所希望者は定員に達している等により入所できないことがある。

② 年々入所希望が低年齢化の傾向にあるが、年齢にかかわらず、入所を希望される児童が年度途中からも含め全て入所できる環境を整える必要があると考えている。

③ 交流・文教ゾーンに建設予定の認定こども園のあり方の一つとして、また子ども・子育て支援計画の中でも、保育園の法人とも連携して検討を進める。



幼保連携型が望まれる竜王こども園

問 3歳未満児の待機児童解消は

答 希望者がすべて入所できる環境を整える必要がある

雪野山と妹背の里



表紙

「竜王新古今八景」とは、町内各地に根付く、風習・人々の生業・現在まで受け継がれてきた地域の価値観・竜王を形つくる新しい顔を意識した心象風景です。

大型商業施設アウトレットパークのオープンから13年。

施設内は多くの関西弁に混じり、時折、近隣地のお国訛りが聞こえてくる。最近では、海外からの来訪客が増え、日本語に続いて中国語の場内アナウンスもある。様々な方面からの来客が絶えない国際色豊かな買い物の名所である。

また、流行に敏感な若者をターゲットに、人気ブランド店が軒を連ね、マスコミに紹介される飲食店には人が溢れる。時代の変化に敏感な若者文化の発信拠点でもある。

万葉の時代から当町を行き交う街道がもたらした人と物との交流文化。古来より培ってきたその文化の延長に今の姿がある。

なお、裏表紙の「竜王八景」は、川守の雪野山と妹背の里です。



第17期竜王町議会議員

議会広報特別委員会

委員 長	鎌田 勝治
副委員長	森島 芳男
委員	澤田 満夫
委員	尾川幸左衛門
委員	磯部 俊男
委員	貴多 正幸



環境に配慮し、再生紙及び植物油インキを使用しています